



祝 令和4年度足羽中入学式

4月8日(金)午後から、新入生152名を迎えて第74回入学式が挙行されました。

—校長式辞—

文殊の山々にも、春を感じさせるさわやかな季節を迎えました。今日のよき日、保護者の皆様のご列席のもと、令和四年度 福井市足羽中学校入学式が挙行できますこと、この上ない喜びでございます。コロナ禍により、来賓の皆様には御遠慮願いましたが、ご参列の皆様は、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、百五十二名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。いよいよ、本日から、足羽中学校の一年生となります。足羽中学校は、「自主、誠実、実践」の校訓のもと、主体的、意欲的に取り組むことを大切にする学校、周りへの思いやりを大切にする学校を目指しています。義務教育最後の三年間という中学生という時期を、一人立ちへの力を蓄える大切な準備期間と捉えてください。

また、みなさんを取り巻く社会情勢として、未だに新型コロナウイルス感染症が収まらないなど、予測が困難な時代に直面しています。このようなときこそ、今、すべきこと、できることに集中することが重要です。

そこで、今日から中学校生活を始める皆さんに、私から二つのお願いがあります。

一つ目は「人の心がわかる優しい心をもつ」ということです。周りの人の心がわかる人は、きっと自分の心も大切にできる人です。学校生活をスタートするにあたり、友達だけでなく、話をしたことがない人も含めて、その人のよいところをたくさん見つけてください。そうすることで、自分自身の心も大きく育っていきます。そしてどうか、将来、人の痛みが分かる大人へと成長してください。

二つ目は、「失敗を恐れず挑戦する」ということです。たとえば、「中学校でこういうことをしたい」という具体的な希望、目標をもち、自分の心から願う一方で、できる限りのことをする。その積み重ねが、今まで自分でも気づかなかった可能性や夢に出会うことにつながります。皆さんが、学ぶ意欲や伸びて



いこうとする気持ちをもち、挑戦し続けることに応えることができるよう、我々職員も、授業や学校行事、部活動の指導に、磨きをかけていきます。

中学校生活を始めるにあたって、二つのこととお話ししました。ただ、日々の生活を送る中で、すべてが順調に進むとは限りません。悩むことや辛いことに会うこともあるでしょう。そのようなときは、これから一緒に生活する先輩たちや、皆さんの左側に並んでいる先生方に、迷うことなく相談してください。そして誰より、皆さんをとことん守ってくださる保護者の方々の存在を忘れないでください。

保護者の皆様、お子さまのご入学、誠におめでとうございます。中学校の制服に身を包んだ姿に、お子さまの成長を実感するとともに、大きな期待をされていることと思います。思春期真っ只中の、中学生という時期は、心身の成長が著しく、人生でもっとも多感な時期を迎えます。私たち職員一同、保護者の皆様と手を携えて、お子さまの健やかでたくましい成長を目指して、全力で取り組んでいく所存でございます。どうか、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、新入生の皆さん一人一人が主役となって、充実した中学校生活を送ってくれることを大いに期待し、式辞といたします。

新任式・始業式

4月8日(金)新任式では、本校に着任された先生方が校長

先生から紹介され、生徒会長が歓迎の言葉を述べました。

始業式では、校長先生からは、「30-1=0と言える学級、真面目にすることが損をしないと言える学年、先輩を見習いなさいと言える学校を目指していきましょう」という話がありました。その後、担任・部活動顧問の発表があり、生徒の方からあたたかい拍手が自然と起こり、素直な足羽中の生徒の一面を見ることができました。



新任紹介～よろしくお願いたします！

丹尾秀雄(国語) 向井敏幸(社会) 福田芳樹(理科) 西出栄里(特別支援)
竹澤優善(特別支援・社会) 角谷健太郎(保健体育) 竹内英夫(施設技師)
浅原真治(通級) 木下晴香(カウンセラー)

—お知らせ—

学校だより「ふれあい」は、足羽中学校HPにおいてカラーで御覧いただけます。右のQRコード、URL <http://www.fukui-city.ed.jp/asuwa-j/> 利用してアクセスしてください。

